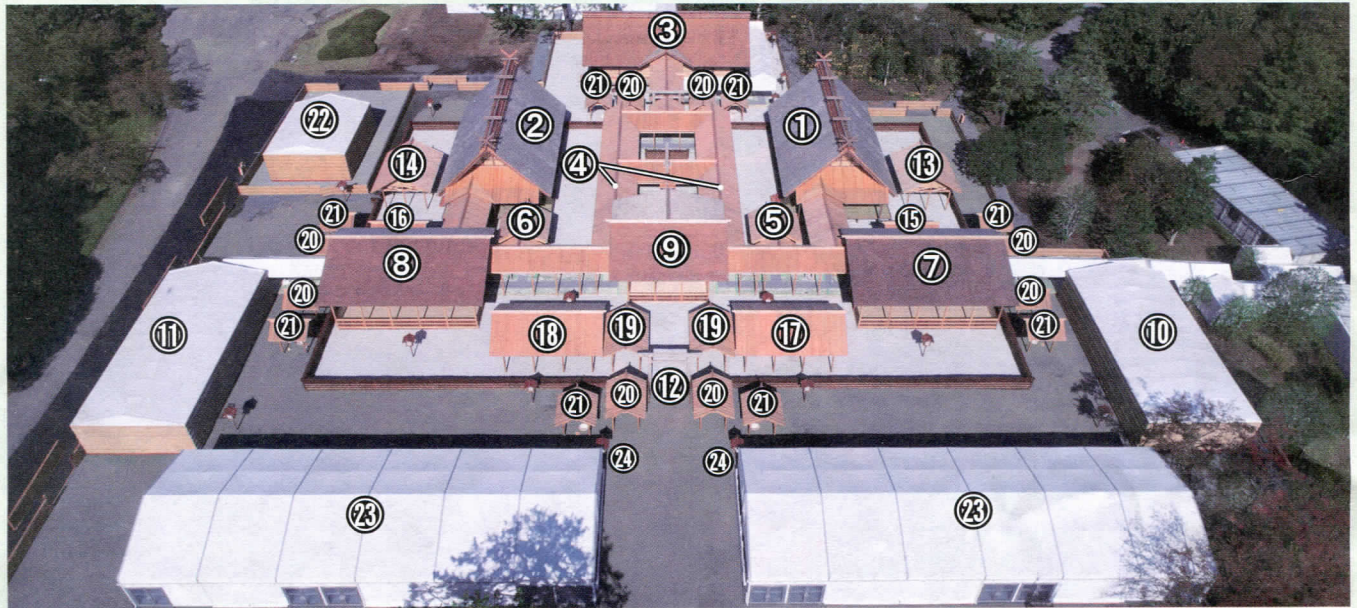


大嘗宮

大嘗宮は、天皇陛下がご即位の後、初めて新穀を皇祖・天神地祇に供えられ、自らもお召し上がりになり、国家・国民のためにその安寧と五穀豊穰などを感謝され、ご祈念になる大嘗祭の中心的な儀式、「大嘗宮の儀」のために造営されたものです。

大嘗宮の儀では、本年11月14日の夕方から夜にかけて「悠紀殿供饌の儀」が行われ、翌15日の暁前に「主基殿供饌の儀」が行われました。



悠紀殿供饌の儀では、①悠紀殿を中心とした右半分のエリアの建物が主に使用され、主基殿供饌の儀では、②主基殿を中心とした左半分のエリアの建物が主に使用されました。

① 悠紀殿	悠紀殿供饌の儀において、天皇陛下が神饌(新穀をもって調製された御食・御酒など)をお供えになり、御拝礼の上、御告文をお奏しになり、自らもお召し上がりになった建物
② 主基殿	主基殿供饌の儀において、天皇陛下が神饌をお供えになり、御拝礼の上、御告文をお奏しになり、自らもお召し上がりになった建物
③ 廻立殿	大嘗宮の儀に先立ち天皇皇后両陛下がお召替えなどをなさった建物
④ 雨儀御廊下	儀式中に天皇陛下がお通りになった、屋根の付いた廊下
⑤⑥ 帳殿	皇后陛下が、ご拝礼のためにお出ましになった建物
⑦⑧ 小忌幄舎	男子皇族が参列された建物
⑨ 殿外小忌幄舎	女子皇族が参列された建物
⑩⑪ 膳屋	神饌を調理した建物。⑩からは悠紀殿まで、⑪からは主基殿まで、それぞれ行列を立てて、神饌が持ち運ばれた。
⑫ 南神門	大嘗宮の中心部分を長方形に仕切る柴垣の東西南北及び雨儀御廊下の中央に設けられた5つの門の一つ。
⑬⑭ 楽舎	楽師が奏楽を行った建物
⑮⑯ 庭積帳殿	各都道府県の特産である農林水産物(庭積の机代物)が供えられた建物
⑰⑱ 風俗国歌国栖古風幄	楽師が、歌(悠紀地方及び主基地方の風俗歌と国栖の古風)を奏した建物
⑲ 威儀幄	武官の装束(黒色又は緋色の衣)を着た者(威儀の者)が着座した建物
⑳ 衛門幄	武官の装束(縹色の衣)を着た者(衛門)が着座した建物
㉑ 庭燎舎	庭火を焚いた建物
㉒ 斎庫	新穀を保管した建物
㉓ 幄舎	参列諸員が着席した建物(大嘗宮の儀終了後、撤去済み)
㉔ 黒木灯笼	皮付き丸太で造られた灯笼(番号を付したものを以外にも各所にある)

「大嘗宮一般参観」，「令和元年秋季皇居乾通り一般公開」参観経路



⚠ 乾門から乾通りへは
入れ(戻れ)ません

⚠ 北桔橋門からは
入門できません

⚠ 乾門へ進むと
大嘗宮を
見ることは
できません

大嘗宮を参観の後、この経路
から二の丸庭園、三の丸尚蔵館
に行くことができます。

- 👉 11/21(木)~12/8(日)
大嘗宮一般参観
- 👉 11/30(土)~12/8(日)
乾通り一般公開・大嘗宮一般参観
- 👉 皇居東御苑のみの入園
(二の丸庭園、三の丸尚蔵館等)

進入コース

0 100 200 300(m)